

単元名：中国人の元気の素を探ろう

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	からだ健康	言語レベル	3	必要時間数	8時間

I 単元目標

健康法や健康に対する意識・習慣について、日中双方から学び、自分たちの生活に生かす方法を考え、その結果を文化祭で発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域

文化領域

グローバル社会領域

◆健康法を話題にして、中国人や日本人とやりとりをすることができる。
◆常用表現やボディランゲージなどを駆使し、積極的にコミュニケーションをとることができる。

◆日々の健康法、健康のために心がけていること、食事・食品についての考え方など日中の共通点、相違点を考察することができる。
◆個人レベルでの心がけだけでなく、学校や地域で行われていることについて着目し、考察することができる。
◆食と健康に対する考え方の日中の異同を考察、分析し、自分たちの生活に生かせるものは何かを探ることができる。

★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

◆人間の生き方(人生)と健康について考えることができる。(知識理解)
◆グループで話し合い、協力して調査資料及び発表資料を作成することができる。(協働)
◆PCで画像や動画も取り込んだ発表資料を作成することができる。(情報活用)
◆調査結果からその要因・根底にある考え方などを探ることができる。(高度思考)

★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

コミュニケーション能力指標

【からだ健康】

3-e. 健康のためによいと言われている民間療法(食事療法、服装、過ごし方、心のもち方など)について、口頭で情報交換できる。
3-f. 好きな人や有名人が行なっている健康法や体力づくりなどについて書かれている記事を、読んで概要を理解できる。
3-g. 自分の健康法や体力づくりについて、書いて伝えることができる。

★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している

Ⅲ 学習活動と評価	
<p>プレコミュニケーション活動（語彙・表現習得活動）</p> <p>◆「健康のために心がけていること、具体的な健康法」についてアンケートを作成する。（食事のとり方、習慣としている運動、積極的に摂取している食品・栄養補助食品等、いくつか項目をたて、答えやすい形にする）【3-e】</p> <p>◆健康に関する雑誌や有名人のインタビュー記事等から、健康法や体力作りなどについて書かれている部分を読んで日本語に翻訳し、クラスで発表する。【3-f】</p> <p>◆自分や家族の健康法について中国語の作文に書いて発表する。【3-g】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p>学習を助けるための評価（形成的評価）</p> <p>◆自分や家族の健康法を中国語の作文にまとめる。（内容、構成、独創性、正確な中国語表記など）</p>
<p>コミュニケーション活動（学習シナリオ）</p>	
<p><場面状況> 修学旅行で中国を訪れたF高校の生徒たちは、中国の人や街の活気を肌で感じ、その元気の素を探ろうとプロジェクトを立ち上げた。</p> <p><活動の流れ> 自分の家族や友人に「健康のために心がけていることや具体的な健康法」をインタビューし、それを参考にして、それぞれの国・地域あるいは家庭でよく行われている健康法や体に良いとされる食べ物、健康グッズなどを調査するためのアンケートを日中両言語で作成する。 年代・性別・住んでいる地域等にも配慮して日中双方でアンケートをとる。中国側の調査はSNSを利用した中高生向けの交流ウェブサイトや文通相手に送ってその家族や知人等にも協力してもらう。結果をまとめながら、なぜそれらが体によいと言われているのかについても、調べたりグループで話し合い、考察する。 日中双方の調査結果は秋の文化祭で発表する。紙媒体の展示・パンフレットだけでなく、PCで画像や動画も入れたものを作成するなど、より効果的な発表方法を考える。実際に体験できるもの（太極拳、眼の体操）については「体験コーナー」を設けて体験してもらい、感想をたずねる。</p>	
<p><目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）> ◆文化祭で展示する。（展示方法が効果的か、展示内容の中国語表記が適切か、情報量など）</p>	
<p><使用教材・教具> PC、インターネット、画像処理ソフト、辞書</p>	
<p>教室外（人・モノ・情報）との連繋</p>	<p>他教科の内容との連繋</p>
<p>交流ウェブサイト、自分の家族や友人、文通相手とその家族や友人</p>	<p>保健体育、家庭科、情報</p>